

夢と志を育てる学園

2021
新年号

vol. 95

玉手山学園 広報

巻頭 理事長挨拶

謹賀新年

夢と志(Dreams and Wills)を形に行動に



恩 感

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動 感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

謹賀新年 夢と志



謹賀新年

夢と志 豊かな心を 形に行動に
やってみよう!

令和3年(丑(ウシ)年) 2021年 豊かな1年になりますように
学園のみなさま(学生・生徒・園児、教職員) 各々の夢と志を 形に行動に
できない やらない理由 より
できる チャレンジする方法 を “やってみよう!”

コロナ対策と教育・学修遂行の両立

例えば“生活発表会(R3.2)楽しみたい”

もしコロナ感染者が出ても 驚かない 慌てない 感染者(濃厚接触者)を守り
そして色々な制限のなかで できる方法を考え 教育・学修遂行(絶対に止めない)
対面授業(学園生活)を続け 喜びの卒業式も “やってみせる”
一人一人のコロナ予防が基本 「Allたまでやま」で “やってみせよう!”



Tama Square の園児と行き交う学生(R2.10.26)
ここにTama Mateの方々もいずれは



Tama Café 一般開放初日(R2.10.1)
お二人ともTAMA MATEのメンバーに

TAMA MATE(街の人が学園を楽しむクラブ)スタート

街の人が Tama Café(学園レストラン)で食事 Tama Square(たまひろば)で憩う
地域共生 学園は社会に愛され(街の人が学園ファンに) 街に育てられる
街の人と学園の人が 学園で交流 お互いを知り 親しみが育つ
トラブルの不安はゼロにはならない しかし交流により豊かな成長が生まれる
学園はチャレンジを選ぶ(成長の機会を逃さない) “やってみよう!”

FOP “輪タク”PJT クラウドファンディング目標達成 自分が役に立てる

高齢者と学生がカフェタイム(会話)を楽しむ
それがFOP(Fukkadai Orange Project) 自分が役に立てるから
高齢者が喜んでくれるから だから自分は“する”
自力で来られない高齢者がいると聞いた
ならば“輪タクで送迎” お金は寄附を募ろう “やってみよう!”
頼もしい若者たち(未来の宝物)...
事故のリスクはゼロにはならない しかしFOPで 豊かな心が満ちる



FOP 高齢者カフェでの和やかな交流

(Dreams and Wills) を形に行動に



学園2号館2,3F Learning Commons (R2.10.7)
左から山本 七海さん、長濱 瑠花さん、難波 早希さん
ここが定位置国試 頑張るぞ!

学園2号館 ラーニングコモンズで 新しい自分を発見して

例えば国試対策猛勉強(仲間と一緒になら) **今人生で一番勉強している自分**
新しい自分に気づこう “帰れない(臨時宿泊)”もあり?(今はできない)
課題は 生活リズム 体調管理 防犯 風紀… 不安要素がいっぱい
できる方法を考えてみる? “**やってみる?**” (常態は論外あくまでも臨時)

学園避難所運営演習(R2.11.13)

まさか(自然災害)のとき 私たちは“する”

まさかのとき 街の人は学園に(学園は避難所に) **学園(若者)を頼りに**

“人様の命”の責任など負えるはずがない

でも私たち(学園)は 何かできることを **やらずにはいられない**

ゼロから 組織態様形成(実際の運営安定)までを

紙芝居で表すことに**学生がチャレンジ!**

分からない(誰が 何を どうやって…) 経験などない ベターな方法を想像
誰もが敬遠するプロセスを考えてみる 意義あり “**やってみよう!**”



避難所運営演習(R2.11.13)
左から奥井 理恵さん、村上 神奈さん、山田 紗弥香さん
紙芝居にチャレンジ(作り演じる)

今春(R3.3) **Front Square**(勾玉橋すぐ正面広場)が完成 **新たな学園の“顔”**
間違いなく学園の表情が変わる 印象に残る(忘れられない)広場(玄関)に

令和3年(2021年)をどう過ごす

“夢は逃げない 逃げるのはいつも自分” さあ「夢と志」を育てよう



建学の精神「感恩」

理事長・学園長 **江端 源治**



FOPの新たな挑戦!

～ 認知症高齢者の送迎用自転車タクシーをクラウドファンディングで ～

大学 社会福祉学科 都村 尚子

福科大オレンジプロジェクト(通称:FOP、旧・バリデーショプロジェクト)では、柏原市初の認知症カフェを2か所の会場で開催して、6年目になります。

FOPの学生が全面的に運営を担い、開催回数は183回、参加人数は学生も含めて延べ1300人に達しました。しかし、回数を重ねるにつれ、いくつかの課題も明らかになりました。最大の課題は、参加者である認知症の方やそのご家族、地域住民の方が固定されてきた点です。

そこで、プロジェクトのOBからのアイデアもあり、広報活動を活発にすることも含めて、「(様々な事情で)お越しに出来ない人こそ、来てほしい人」とであると認識をし、身体的な事情や心理的な孤立などで参加が困難であった方々を自分たちの手で送迎しようと考えました。1年半の構想と準備を経て、2020年10月にクラウドファンディングを開始し、そこで獲得した費用で「自転車タクシー」を購入することに

なりました。お蔭様でみなさまのお力により、クラウドファンディング開始から、5日目で目標95万円に達し、11月16日には、1,245,000円のご寄付をいただき、終了いたしました。

この「輪タクプロジェクト」を、これからもお見守りいただき、ご支援くださいますようお願い申し上げます。



芸術の秋

～三二たまたまやま芸術祭～

大学事務局総務部 宮田 紫野

11月25日(水)から27日(金)にかけて、玉手山学園と関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所主催の『三二たまたまやま芸術祭』が開催されました。

この企画は、今年度が初めての試みであり、午前中だけの開催であった最終日を除くと、期間中は午前10時から午前12時と午後2時から午後4時の1日2回に分けて、立教館にて行われました。

当日は、診療所の芸術教室に参加されている皆さんや、柏原市在住の芸術家が制作された絵画や書道、パッチワークなどの作品が数多く展示され、多くの来場者で賑わいました。

会場を訪れた人は、「元気をもらった」と笑顔でおっしゃっていました。





コロナ禍での健康づくり教室



大学 リハビリテーション学科 野村 卓生

コロナ禍の中でも、地域のみなさまの健康づくりを支援させて頂きたく、2020年10月より「健康づくり教室」を再開させて頂きました。今回は、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の資格をもつ講師陣が、それぞれの専門職の立場から、5つの講座を開講しています。

講座A	身体活動量を増やして生活習慣病を予防しよう!	野村 卓生 (理学療法士)
講座B	筋トレでサルコペニアを予防しよう!	森 耕平 (理学療法士)
講座C	リハビリの要素を取り入れたダンスで認知機能の向上・転倒を予防しよう!	辻 陽子 (作業療法士)
講座D	ピラティスを取り入れた体操でいつまでもイキイキ健康に!	廣島 玲子 (理学療法士)
講座E	健康づくりに役立つマメ知識「手洗い」を身につけよう!	中谷 謙 (言語聴覚士)



講座A 身体活動量を増やして生活習慣病を予防しよう!

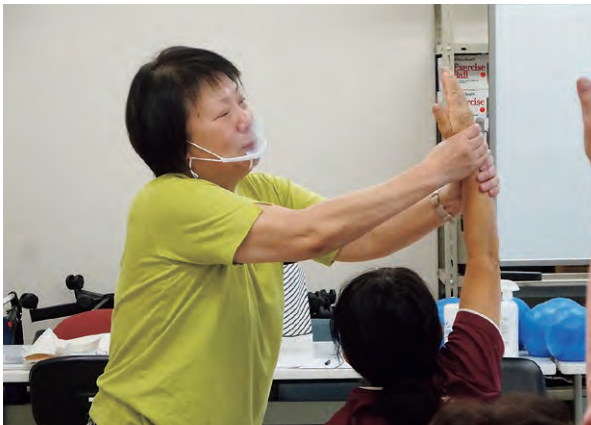
1講座あたりの参加人数を10名以下として、感染予防対策にも努めながら実施しています。保健医療学部では、コロナ禍の中でも、今後も地域のみなさまの健康づくりを支援し続けていきたいと考えています。



講座B 筋トレでサルコペニアを予防しよう!



講座C リハビリの要素を取り入れたダンスで認知機能の向上・転倒を予防しよう!



講座D ピラティスを取り入れた体操で、いつまでもイキイキ健康に!



講座E 健康づくりに役立つマメ知識「手洗い」を身につけよう!





第11回 関女技能オリンピック



関女技能オリンピックは各学科の専門職に特化した技術を競い合う技能大会で、技術の向上と自己研鑽を目的として実施しています。例年、表彰式を11月末または12月上旬の土曜日に記念講堂にて開催しておりましたが、今年度

は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体での表彰式は実施せず各学科で予選・本選を行い、表彰式を実施することになりました。



【保育学科】

保育園・幼稚園の行事をテーマに、保育者としての技能、即ち保育に適した内容の準備、保育場面でのリードや

子どもの心をひきつける表現などを競いました。衣装・小道具・大道具などに廃材を使用し、それぞれ工夫された温かくやさしいプログラムが完成しました。優勝は渡邊ゼミの「どうぞのひなまつり」でした。

【養護保健学科】

保健室で行う環境整備の一つである「ベッドメイキング」技術の正確さ・美しさ・速さを2人ペアの32組で競いました。当初は完成までに10分以上かかっていましたが、決勝戦では4分前後の接戦となり、正確さ美しさが23点(26点満点)の3組が選ばれました。



【歯科衛生学科】

患者さんの口腔状況をいかに正確に記入できるかを競う「口腔内状況の書き取り」をテーマに実施しました。



各ゼミより2名選出しその合計得点を競った結果、細見ゼミの田中さん、田村さんが金賞を受賞しました。



【医療秘書学科】

患者さんが再診受付に来られてから、会計を終えられるまでの「患者対応業務」を実演しました。対応時の言葉遣い、目線、話し方等

を始め、会計時には院外処方の説明と、患者さんから医療費に関する突然の質問にわかりやすく説明できているかを評価しました。

歯科衛生学科の畠中能子教授が 「短期大学教育功労者」 として表彰されました



この度、歯科衛生学科の畠中能子教授が、短期大学教育70周年を記念し、短期大学教育に長く従事しその功労が顕著な者、及び短期大学教育に特に功績があった者として、文部科学大臣から表彰され、表彰状を授与されました。

ご本人のコメント

思わぬ賞を頂戴し、大変驚いております。2003年度より関西女子短期大学でお世話になり、それ以前も含めて25年以上が経過いたしました。「早い!」と思うと同時に、教育に対する責任を強く感じます。働く環境を与えてくださったみなさまに、感謝申し上げます。天から「これから精進せよ」と言われているように聞こえます。心して精進して参ります。





文化クラブ 舞台発表会・展示会



高校 平井利明

9月19日(土)、舞台発表会が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、文化祭を中止にせざるを得ない中、文化系クラブの3年生に最後の発表の機会を設けたい、また、いろいろな行事が中止になる中、学校を活気づけたいとの思いで企画し実施に至りました。

発表クラブ・クラスは、吹奏楽部、演劇部、ギター部、ダンスバトン部、保育進学コース1年の和太鼓、保育進学コース2年の創作ダンスでした。密を避けるため、学年ごとに時間差をつけて、記念講堂で実施しました。演じるクラブ・クラスは3回公演となって大変でしたが、よく頑張ってくれました。

どのクラブ・クラスも、例年より練習時間が少ない中、一生懸命演じてくれました。今年度は生徒全員が舞台発表を鑑賞でき、演じる側にとっても鑑賞する側にとっても、そして最後の舞台発表となった3年生にとっても思い出深い、良い経験になったと思います。日頃見られない友人や先輩・後輩の真剣な表情、素晴らしいパフォーマンスに新しい発見もあったに違いありません。

文化系クラブの舞台発表会とは別に、写真部・書道部・美術漫画研究部・ハンドメイド部は高校本館1階エントランスにて9月18日から25日まで展示会をしました。また、箏曲部は9月25日放課後に発表会を行い、それぞれ日頃の成果を

披露することができました。保護者の方々に見て頂くことができなかったのは残念でしたが、このような状況下でも生徒たちは活発にクラブ活動に励み、頑張っていることを確認できた素晴らしい一日だったと思います。



ギター部



ハンドメイド部



演劇部



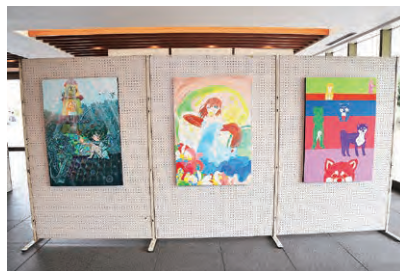
写真部



書道部



吹奏楽部



美術漫画研究部



ダンスバトン部



保育進学コース1年



保育進学コース2年





球技大会 (全学年)



今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体育祭が中止になりました。そこで、学年ごとに球技大会(男子 サッカー、女子 バレーボール)を実施しました。

3年 9月26日(土)

3年生にとって、思い出に残る最後の体育祭が中止となり、生徒たちは残念な気持ちでいっぱいでした。しかし、球技大会ができることになり、高校生活最後の行事として、とても楽しみにしていました。当日は天候に恵まれ、男子のサッカーは熱戦で、迫力があり、見応えのある試合が続きました。教員チーム対生徒代表の試合では、古山先生と山口先生のスーパープレーが見られ、大変盛り上がりました。

女子のバレーボールも熱戦続きで、見事なスパイク、レシーブの応酬で、見応えがありました。みんなで応援し、声をかけ合い、クラスの絆がより深まりました。3年生にとって、良い思い出ができたようです。



2年 10月28日(水)

今年度はほとんどの行事がなくなってしまったこともあり、久しぶりの行事に生徒たちは朝からウキウキした表情を浮かべていました。マスクの着用はもちろん、手指消毒の徹底や密を避けるなどの細心の注意をしたうえで開催となりました。クラスメートへの応援や、得点が入った時の歓喜の声などが飛び交い、とても明るい雰囲気を実施できたと思います。勝敗に関係なく、みんなが楽しそうな顔をしていたのが印象的でした。今年度は自粛が求められることが多かったのですが、今回の球技大会で生徒たちが楽しそうにしている姿を見ることができて本当に良かったです。

1年 11月11日(水)

当日は気持ちの良い晴天に恵まれ、各クラスが作戦を立て、全員が出場できるように調整したメンバーで優勝を競い合いました。それぞれの球技において、生徒たちは持てる力を存分に発揮し、チームのために必死でボールを追いかける姿には清々しいものがありました。この行事を通してク

ラスの結束も固まったように思います。また、準備をはじめ記録、点呼なども生徒主体で取り組んでおり、役割にあっていた生徒たちが立派に各自の仕事を完遂してくれたおかげで、非常にスムーズに大会を終了することができました。

男子は4組が優勝、女子は10組のAチームが優勝、7組が準優勝という結果でした。



令和2年度 クラブ活動報告



令和2年度のクラブ活動のおもな結果を報告させていただきます。

なぎなた部

第75回大阪高等学校総合体育大会なぎなた競技会(9月)

- 団体の部 優勝
- 個人の部 優勝、第2位、第3位
- 演技の部 優勝、第2位

第33回近畿高等学校なぎなた選手権大会
大阪府予選会(11月)

- 団体の部 第2位
- 個人の部 優勝
- 演技の部 第2位



バドミントン部

第49回全国高等学校選抜バドミントン大会
大阪府予選会(11月)

- 学校対抗の部 女子 第3位、男子 第3位

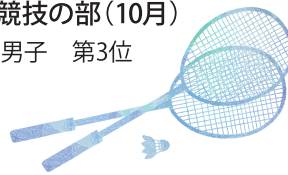
第67回近畿高等学校バドミントン選手権大会
大阪府予選会(8月)

- ダブルスの部 女子 第5位、男子 第5位
- シングルの部 女子 第5位、男子 第5位

※ 上記の結果により、
近畿大会に女子4名、男子4名が出場決定。

第66回大阪私立高等学校総合体育大会
バドミントン競技の部(10月)

- 学校対抗の部 女子 第3位、男子 第3位



卓球部

第73回大阪高等学校新人卓球大会(9月)

- 女子の部 学校対抗 準優勝

第75回大阪高等学校総合体育大会(11月)

- 女子の部 学校対抗 準優勝

※ 上記の結果により、
第35回近畿高等学校新人卓球大会(12月 京都)に出場決定。



日本拳法部

第75回 大阪高等学校総合体育大会
日本拳法競技会(9月)

- 男子団体競技 優勝
- 女子団体競技 第3位
- 男子個人競技 準優勝、第5位(2名)
- 女子個人競技 準優勝、第5位(2名)



演劇部

第41回大阪府高等学校芸術文化連盟
演劇部会 地域別文化祭

第70回大阪府高等学校演劇研究大会
H地区大会(11月)

- 優秀賞、舞台美術賞、個人演技賞



秋の遠足

幼稚園 島田 菜加

気持ちのいい秋の気候を感じながら、今年度も芋ほり・みかん狩り・榎原神宮へ園外保育に行きました。

芋ほりでは、「芋が見つからない〜!!」「大きい芋が下に隠れている!」「この芋、すぐ食べられるの?」など、いろいろな声が聞こえました。芋のなる様子や芋の大きさの違いに気づき、一生懸命掘る姿が見られ、子どもの成長を感じました。

みかん狩りでは、みかんが採れる場所に到着するまで、ドキドキワクワクしながら歩く姿が見受けられました。一人ずつ二つのみかんを選ぶ際には、「こっちのみかんの方がおいしそうやな〜」「こっちのみかんの方が大きいな〜」と吟味する姿が、とっても可愛かったです。自分で採ったみかん、みんなで食べるみかんは、甘酸っぱく、美味しかったですね。

みんなが楽しみにしていた「あおぞらII」で行く榎原神宮!! 駅まで歩き、駅のホームで電車が来るまで、ずっとワクワク

していた子どもの姿が印象的です。榎原神宮に着くまでもどんだりや葉っぱを見て、「小さいどんぐりがある!」と自然の宝石を見たように目をキラキラとさせていました。自然いっぱいの中で、友だちや保育者と一緒に全力で、元気いっぱい遊んで、楽しかったですね!

秋の遠足で経験したことは、これからの子どもたちの力になったことと思います。遠足で感じたことや思ったことをみんなで共有する姿からは、一段とお兄さん、お姉さんになったような印象を受けました。



運動会 たのしかったね!

幼稚園 吉川 智月

10月24日(土)、学園総合体育館で乳幼児の第2回運動会を行いました。毎日、園庭やお山の広場でたくさん体を動かして遊ぶのが大好きな「こすもす組」、ピアノの音に合わせてリズムに乗って踊ることが大好きな「ちゅうりっぷ組」・「たんぼぼ組」。日頃からたくさん遊んで体力もついてきました。

運動会では、お友達と一緒に堂々と入場していました。

いよいよ子どもたちの出番です。ロードバイクに乗りながら、保育者やお家の人に手を振ったり、お返事の時にカッコいいポーズをとったりして、楽しんでいました。また、大きな

ミキサーを使ってミックスジュースを作っているたんぼぼ組・ちゅうりっぷ組に「おいでー!」と呼ばれて、こすもす組が「はーい!」とみんなのところへ走っていき、一緒に踊って楽しめました。お家の人にたくさんの応援とあたたかい拍手をいただき、笑顔いっぱいの運動会になりました。



元気いっぱい!!運動会

幼稚園 三木 亜莉沙

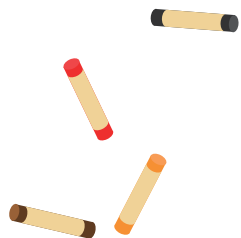
10月11日(日)、幼稚園の運動会が行われました。開会式のファンファーレと共に緊張も吹き飛んで、堂々と笑顔いっぱいで入場してきた子どもたち。

遊戯では、曲に合わせて体を伸び伸びと動かしながら表現を楽しんだり、ゴールを目指して元気いっぱいかけっこしたり、年長組のリレーでは、クラスのみんなで気持ちを一つにバトンを繋ぎ、最後まで一生懸命に走る姿に会場が大盛り上がりでした。子どもたちの頑張りをとても嬉しく思います。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、学年ごとに時間を分散しての開催となりましたが、保護者の方々のたくさんの温かい応援の中、子どもたちは力をいっぱい発揮して楽しむことが出来ました。

保護者のみなさま、学園関係者、地域の方々のご協力に感謝いたします。





芸術の秋！ ちびっこ芸術家大集合！！



幼稚園 杉岡 朋

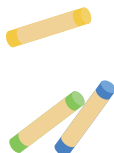
11月21日(土)、作品展の鑑賞のために、お家の人と一緒に登園する幼稚園は、普段とは違い格別です。子どもたちは、笑顔いっぱい、ワクワクしながら、お家の人と手を繋いで登園してくれました。

年長児クラスでは、クラス毎に一つのテーマを決め、そこからそれぞれにつくりたいものを話し合っていました。子どもたちのアイデアが面白く、それぞれの思いが作品を通じてとても伝わるものばかりでした。年中児クラスでは、一つひとつの作品や絵に、それぞれのかわいいお話があり、作っている時の表情が目に見えようでした。年少児クラスは、ほとんどの子どもたちにとって、はじめての作品展です。この年齢特有の、空想と現実が入り混じったような、独創的な作品がたくさんあり、ほっこりした気持ちになりました。

また、出来上がったことが嬉しかったのか、乳児棟に来た時に、「ちいさいぐみさんも、さくひんてんやるん？」と胸

を張って聞いている姿も見受けられました。自分たちの絵や作品でいっぱいの保育室に入ると、「これ見てー」「こーやって作ってん」「こんなんできたでー」と指をさし、作った時の思いや、説明をしてくれていました。お家の人に「凄いなー」「がんばったなー」とたくさん褒めてもらい、少し照れながらも得意な表情で「頑張ってる」と話していました。まだ言葉を話せない乳児クラスの子どもたちも、「すごいねー」と言ってもらうと、何とも言えない照れた表情でモジモジした姿が印象的でした。

今回の行事を通して、また一つ、成長を感じられました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございます。



避難所運営演習

法人本部 地域連携センター 中井 松時

11月13日(金)、昨年に引き続き本学園と柏原市の共催による2回目となる避難所運営演習を学園総合体育館“Do夢”にて実施しました。

本学園は大地震や洪水、大規模火災などの災害時には地域の方々の「指定避難所」として使用することになっており、災害発生時は学生・生徒・園児の安全確保と共に、全ての避難所利用者の安全確保・支援が求められています。

今年度はコロナウイルス等の感染症対策を踏まえた事前準備から避難所運営までの演習を行い、学園教職員・学生・生徒、柏原市からは富宅市長はじめ市職員、市立小中学校の教員、柏原市内の区長様など総数208名の方々にご参加いただきました。短大養護保健学科の学生さんには、検温や受付・場内誘導の役割を担っていただき、また地域連携クラブの学生さんには、災害発生から組織態様が形成されるまでの流れを示す紙芝居を作成し、発表していただきました。ご参加ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

当日のプログラム

- 1.大学生による防災紙芝居
- 2.開会挨拶
- 3.全体座学①『新型コロナウイルスについて』
(大阪府藤井寺保健所)
- 4.全体座学②『避難所運営マニュアルについて』
(柏原市危機管理課)
- 5.全体演習
 - ・避難者の受付と受入について
 - ・避難所備品の取扱い
 - ・3密を回避するための避難所設営
- 6.講評(柏原市危機管理課)



参加した学生さんのコメント



地域連携クラブに所属しています。地域のことや、災害が起きたときの避難所の動きについて少しでも知ることができる良いきっかけであり、挑戦してみようと思い、参加しました。

絵は山田が描き、色塗りや原稿作成は奥井・村上・山田の3人で行いました。原稿作成では、質問を入れ、聞いてくださる方が自分で答えを考えられるような構成にしました。絵を描くことによって、親しみやすいイメージにし、分からないことがあれば、調べて理解しながら描きました。また、サイレン音での災害発生を知らせる実演をするなどの工夫もしました。

今回、避難所運営演習の紙芝居作成に参加して、災害が起きた時の避難所の大まかな動きについて知ることができました。また、大勢の人の前での発表はとても緊張しましたが、良い経験になりました。サポートしてくださった理事長をはじめ中井マネージャー、江端将史さん、避難所運営紙芝居に協力してくださったみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

(社会福祉学科2年 奥井理恵さん、村上神奈さん、山田紗弥香さん)



地域連携センタークラブの一員としてお手伝いも込みで参加しました。

避難所運営演習で一番印象に残ったことは、やはり実際に地域の方々と避難所運営を行ったことです。

今回、避難所運営演習に参加したことで、まず新型コロナウイルスのことを詳しく理解することができました。どのように感染拡大が起こるのかや、正しい感染対策を知ることができました。さらに、実際に避難所運営演習を地域の方々と一緒にチームになりダンボールベッドやテントなどを作成するにあたって、上手く周り協力して、いかにスムーズに作成できるかがとても難しく、大事な事だと実感しました。今回はじめて避難所運営演習に参加しましたが、参加してみないと分からないことがたくさんあったため、もっと多くの人に参加してもらったり、参加した方が中心となり、地域全体が知識を深める必要があると考えることができました。

(心理科学科3年 池村里美さん)

Tama Café

一般開放開始と新メニュー!!



法人本部経営企画室 江端 万純

令和2年10月1日(木)より、学園本館1階 食堂「Tama Café」の一般開放がスタートしました。

同日より以下の新メニューの販売もスタートしました!

また、「TAMA贅沢ドリンク」の 카테고리から値段別にたくさんの種類のドリンクが選べるようになりました! キャラメルマキアートやカプチーノ、抹茶オレ等が人気です。

新メニューはTama Caféワーキングチームの学生・生徒・教職員の意見を基に考案しました。

引き続きTama Caféがより魅力的な食堂となるようワーキングチーム一同で改善を行っていきます!

*ふわとろオムライス ... 380円 *welcome*

*糖質OFF!
五穀米からあげBOWL ... 390円

*ハワイアンナッツパンケーキ
1枚 ... 220円
2枚 ... 250円
3枚 ... 280円

*スペイン風バスクチーズケーキ ... 250円



糖質約2/3
カット!



学園グッズ

3種類のファイルを使い分けて効率アップ!
TAMA効率ファイル
何枚あっても足りない
A4 ¥130(税込)

これからできる人に。

シンプルでさりげない新しさ

勉強改革!

パッと開けて使いやすい
二つ折り ¥270(税込)

大事なペーパーをしっかりと保護&
裏面は下敷きボードに
5分類 仕切り ¥400(税込)

夢と志を挟むファイル。

夢と志を描こう。

クセになるなめらかな書き味!
集中力・能率・記憶力UP!

TAMA集中ペン

三菱「JET STREAM」多機能ペン
4色(黒赤青緑)ペン+シャープペン

絶対クセになる。

他にはない価格!
&替え芯を使って長く大事に使える

BLACK 0.5mm ¥850(税込)

PINK 0.7mm ¥850(税込)

努力から結果へ。この一本。

建学の精神 「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動 感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

使 命

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

綱 領

- 1.学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす
その教育実践により 職員も豊かになる
- 2.教育人として 自己の能力 人格の向上に努め その使命を誠実に遂行し
未来を拓く「知・志」を継承 創造する
- 3.各校園は 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ
職員は 常に改革(できる)の意識とスピード感をもって
創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する
- 4.職員育成(強い組織)に努め 健全な財政基盤を確立し 学園の継続 発展を創り出す

ビジョン

【玉手山学園の実践・実現】 *For the students*

- 1.夢と志 (*Dreams and Wills*) を育てる 豊かな心を 形に行動に
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
- 2.教育力の向上 学業成果(できるようになる)・修学成就
- 3.教育体制の充実
 - ・組織安定
 - ・4校園体制堅持(大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
 - ・健全収支
 - ・教育環境(施設・設備等)の充実(安全安心 快適 愛用)
- 4.地域共生 社会に愛され 成長する学園
- 5.学園総合力の向上(学園ファミリー意識)
各校園(職員 学生 生徒 園児)の相互協力 尊重

本部

HAVE YOU HEARD OF “TAMA MATE” ?

10月1日(木)、「TAMA MATE(玉手山学園を楽しむクラブ)」がスタートしました!

「TAMA MATE」とは、地域の方に学園をより身近に感じ、親しんでもらうための会員制のクラブです。

ちなみにMATEとは英語のスラングで「友達」の意味があります!

学園が地域社会の一員として、地域との交流・連携を図り、地域と共生し、

社会に愛され成長する(地域に育てられる)学園になる…!その実現に向けた熱い想いを込めて発足しました!

会員特典として、メンバーIDの発行とTama Café・Tama Squareがご利用いただけます。

なお、会員特典は今後拡充予定ですので楽しみに!

学園で「TAMA MATE」のネックストラップを着用されている方を見かけたら

「HI MATE! 」と話しかけてみてください!笑



新たな学園の「顔」 Front Square (仮称) ってどんな所?

法人本部 施設部 田堀 富造

学園2号館が、令和2年6月から供用開始されました。短大1号館の機能は学園2号館に引き継がれ、45年間の役目を終え、解体撤去されました。これにより、玉手山学園内のすべての校舎は耐震強度の面で健全校舎となり、学園の耐震化率は100%となりましたことをお知らせいたします。

解体跡地はTama Squareと同じく緑地・広場に整備して、学園に集う学生・生徒・園児・教職員・保護者・来客・地域住民のみなさまに楽しく快適に過ごしてもらえるような空間になります。ワーキングチームで議論した完成イメージを工事現場入口にも掲示していますが、以下にイラストでご紹介いたします。令和3年3月末には工事は完了し、4月より供用開始のスケジュールで進めています。



学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部) 古橋 正則 (高等学校) 與原 真弓 (法人本部)
委員 横山 学 (大学事務局) 稲垣 晃子 (幼稚園) 松井 愛 (法人本部)
辻村 匡志 (大学事務局) 植田 陽 (法人本部)